





観光ボランティアの皆さん、倶楽部員の皆さんのご協力により充実した公開とすることが出来ました。皆さんありがとうございました。（宮原記）

れました。  
毎回好評な喫茶コーナーも内容を充実、可愛い中学生のサービスもあって大変好評でした。

#### ◆マスコミも注目

今回の特別公開はマスコミも注目、公開前日の2日にはCACの生中継が、3日にはテレビ愛知の「遊びにいこっ」の収録でマナ&カナが来場しました。他社の取材もあり、赤レンガ建物がメジャーになってきたことを実感すると共に「広告」の重要性も体感することとなりました。

3日・4日の特別公開は天候にも恵まれ2日間で約5,500名の来場者を迎え、盛況に終わることが出来ました。今回も、赤だすき赤前かけのご提供をいただき着物を貸して下さった荒川呉服店さんをはじめ、市内の中学生・高校生そして愛知淑徳大学の学生さん、市の職員の皆さんそして



## ■ NEWS 02

### 「目覚めよ！赤レンガ」

## 赤煉瓦ネットワーク2005 半田大会

江別から半田へ、そして油津へ

◆それは馬場事務局長の「赤煉瓦ネットワークの全国大会を半田に持って来よう！」の一言から始まりました。

◆先ず誘致の嚆矢として、平成15年の横浜大会にマイクロバスを仕立てて会長以下20名が乗りつけました。多少根回しをしていたとはいえ、次々回開催地の決定は例がなく一抹の不安が残っていましたが、揃いのトレーナーの20名の気迫が伝わったのかスムーズに半田大会が決議されました。翌平成16年の北海道江別大会には会長以下9名が遠路参加し、平成17年全国大会（第15回）の半田誘致を宣言して、無事、大会横断幕の引継ぎセレモニーを終えたのでした。

◆そして平成17年9月、会場を圧倒する祭り囃子の笛・太鼓の音と法被姿の若衆の入場、かくして2年がかりで準備した半田大会が始まりました。市長の歓迎挨拶に続いて小学生がグループで制作した半田の街紹介ビデオの発表。半田赤レンガ建物の登録文化財証書の披露に引き続き、半田で活躍している13組ほどが各団体の自己紹介の後、全国赤レンガネットワーク各地の倶楽部いずれ劣らぬ活躍の紹介は、新鮮で活力を伝えるに十分なものでした。会場は準備していた椅子が不足してきて立ち見が出るほどの盛況で、急遽、椅子を追加する事態に。翌11日は半田赤レンガ建物内部の見学と半田運河周辺を主体とした見学。当日は気温35℃、無風、高湿度で徒歩での見学は大変でしたが、それも赤レンガ建物での解散式では皆、疲れ顔の中にも充実感が、そして締めくくりとしてのネ

ットワーク事務局長の「この半田大会は過去15回の中で最高であった」との挨拶は、外交辞令分を多少割り引いたとしても関係者にとってはとても有り難いものでした。これも市のご担当、そしてなによりも半田の皆様のご協力、ご参加なしでは成り立ちませんでした。ここにあらためて心からの感謝を申し上げます。

#### ◆最後に、「油津大会のご案内」

次回、平成18年秋の全国大会は11月11・12日に、宮崎県日南市の油津で行われます。ここのホストである「油津赤レンガ館」は、解体の運命にあった貴重な赤煉瓦倉庫を自分達で資金をかき集めて買取り、日南市に寄贈したという、ちょっと真似のできない実績を持つグループです。この際、南九州旅行を兼ねて、参加をお勧めします。詳細は未定ですが、ご希望の方には資料が到着次第ご連絡いたしますので、倶楽部事務局までご連絡ください。（桑田記）

## ■ NEWS 03

### 赤レンガ広場完成！

今年で 45 周年を迎えるライオンズクラブから半田市に、記念事業として赤レンガ建物の整備に協力をした、との申し出があったのは昨年のこと。それから 1 年がたち、建物南側に赤レンガ広場が寄付されました。記念事業はまずはレンガづくりから、と、10 月に半田市産業祭の会場で来場者に生レンガを渡して様々な絵・コトバを彫ってもらいました。それを焼いてから工事開始、レンガの広場とベンチが作られ、ケヤキの木が植えられ、ついに昨年の 12 月 21 日に半田市長に仮贈呈されました。正式なお披露目は 4 月 29 日、ライオンズクラブ 45 周年記念の式典でした。当日は早速完成した広場にテントが張られ、半田ジュニア brass バンドの演奏が行われました。完成した広場は三方向を壁に囲まれて雰囲気がよく、まず赤レンガ交流会の会場として活用させていただきました。今後も折々に有効に利用してゆきたいと思います。ありがとうございました。（山口記）



## ■ NEWS 04

### 第3回蔵のまち雑祭り

2 月 25 日 26 日の二日間、今年度も半田市内中心部で「蔵のまち雑祭り」が行われ、半田赤レンガ建物もお雑祭を展示しました。3 回目ともなれば会場づくりもお手のもの、



毎回好評をいただいているスタンドグラス、吹きガラス、乙川人形のお雛さまの展示のほか、茶香炉の香り・生花で空間を盛り上げました。また、今回は、昨年の 6 月に復刻したカプトビールも販売しました。2 日目は何の恨みか朝から土砂降りの雨でメイン会場が中止になるなど来場者数は伸び悩んだのですが、お客様は外へも出れず、建物内でゆっくりと滞留して下さったため、思いのほかしっかりと落ち着いた空間となりました。（山口記）

## ■ NEWS 05

### 2006年 恒例の新春合宿

1 月 22 日（日）午後 1 時より半田市成岩公民館で恒例の新春合宿が行われました。参加者は 20 数名。はじめに長谷川会長より「昨年は 2 大ビッグイベント（復刻カプトビール、全国大会）をはじめ各活動に大きな成果を上げることができた。倶楽部の皆様のご協力ご支援の賜物です」との挨拶がありました。続いて、馬場事務局長より「昨年は中期 3 ヶ年計画の最終年で、倶楽部員を始め、市当局及び関係者の努力で、計画通り進行し半田赤レンガ建物を全国に広く発信することができた。本年より新しいステージに入る。今回の合宿で新中期 3 ヶ年計画と 6 月の第 5 回特別公開の内容について議論したい」との挨拶がありました。その後ご来賓の挨拶があり、午後 2 時より実質審議に入りました。第 1 号議案は「6 月特別公開の内容について」で、参加者より「ものづくりにこだわった企画、当時広告業界に与えた新聞・チラシコーナー等」の意見が出されました。続いて第 2 号議案の「新中期 3 ヶ年計画について」に移り、参加者全員に「赤レンガ建物の将来に向けての“夢”“想い”や「赤煉瓦倶楽部半田のあり方について」をテーマに各自記入していただき、全員発表していただきました。当初事務局としては一部の方からだけの意見で全体として活発な意見が出ないのではないかと危惧していましたが、その予想は外れ非常に活発な意見が出されました。これも昨年の活動の成功体験のお蔭か？？



沢山意見をいただきましたが、当日は方向づけしないで事務局で集約してフィードバックすることにしました。気づいてみるとすでに午後 6 時頃。議論はそれまでとし、模様替えを行い新年懇親会に切り替え午後 9 時頃まで赤レンガをつまみに楽しい時間を過ごしました。中締めの際には今年さらには飛躍の年にしよう！！との力強い音頭があり全員大きな声で今年の成功を誓い合いました。（馬場記）

## ■ 赤煉瓦倶楽部半田規約

[会の名称]

赤煉瓦倶楽部・半田

[目的]

- ・ 貴重な旧カプトビール赤レンガ建物及び明治の旺盛な起業者精神を後世に引き継ぐこと
- ・ 山車、蔵と並ぶ半田のシンボルとして、赤レンガ建物を生かした街づくりを調査・研究すること
- ・ 赤レンガ建物に関係するネットワークと連携し、赤レンガ建物を生かした街づくりを支援すること

[会費]

- (1)入会金 1,000円
- (2)年会費
- ①個人会員 1,000円
  - ②法人・団体会員 10,000円
- \*\*団体は10名以上

[活動年度]

- ・ 毎年7月1日～翌年6月30日
- ・ 総会は、毎年1回開催する

[運営]

- ・ 会の運営にあたり、会長、事務局長、事務局長補佐、会計を置く。
- ・ また、必要に応じて専門係を置く事ができる。

## ■ 編集後記

念願の全国大会を開催し、特別公開も5回を数えるようになりました。私は新入りで遠い過去を知りませんが、かつてからは考えられないほど状況が変わってきました。しかし、初心は忘れずに、この建物の魅力をより多くの方に伝えるようにしたいと思います。

## ■ 広告募集

当倶楽部のホームページや機関紙に広告を掲載していただける企業や団体を募集しています。

1 枠 年間 5,000 円

集まったお金はホームページの管理費や機関紙の発行費用に充てます。

□□□

## ■ 赤レンガ建物修復基金

### 寄付報告

### ～復刻カプトビールの収益などを半田市に～

会報3号でもお伝えしましたが、昨年6月に「赤レンガ建物修復基金」を創設しました。目的は赤レンガ建物の修復並びに活用のための資金の一部とすることです。

カプトビール販売による企画料及び当目的に賛同いただき寄付していただいた分が当基金に入ります。17年度には当基金より建物管理者である半田市に対して、赤レンガ建物修復に役立てていただくために50万円を寄付いたしました。なにとぞこの趣旨にご賛同いただきご協力をいただきますようお願いいたします。



### \*\* 基金の口座 \*\*

知多信用金庫 本店営業部 普通預金  
店番 021 口座番号 0497825  
アカレンガクラブハンダ

### \*\* 平成18年6月30日現在の基金積立金 \*\*

基金積立額 293,132円

内訳

カプトビール企画料 (びん 17,129本、サーバー 1,405L) 766,817円	+	一般募金 26,315円	-	市へ寄付 500,000円
--	---	-----------------	---	------------------

□□□  
□□



**全愛知県赤煉瓦工業協同組合**  
〒447-0863 愛知県碧南市新川町3丁目85番地  
TEL・FAX (0566) 41-1276  
E-Mail : office@akarenga-aichi.or.jp  
WWW : http://www.akarenga-aichi.or.jp

リサイクルガラス  
ガラススタジオ青山

吹きガラス、これほ玉教室

半田市青山4-23-10

TEL.0566-24-6416